



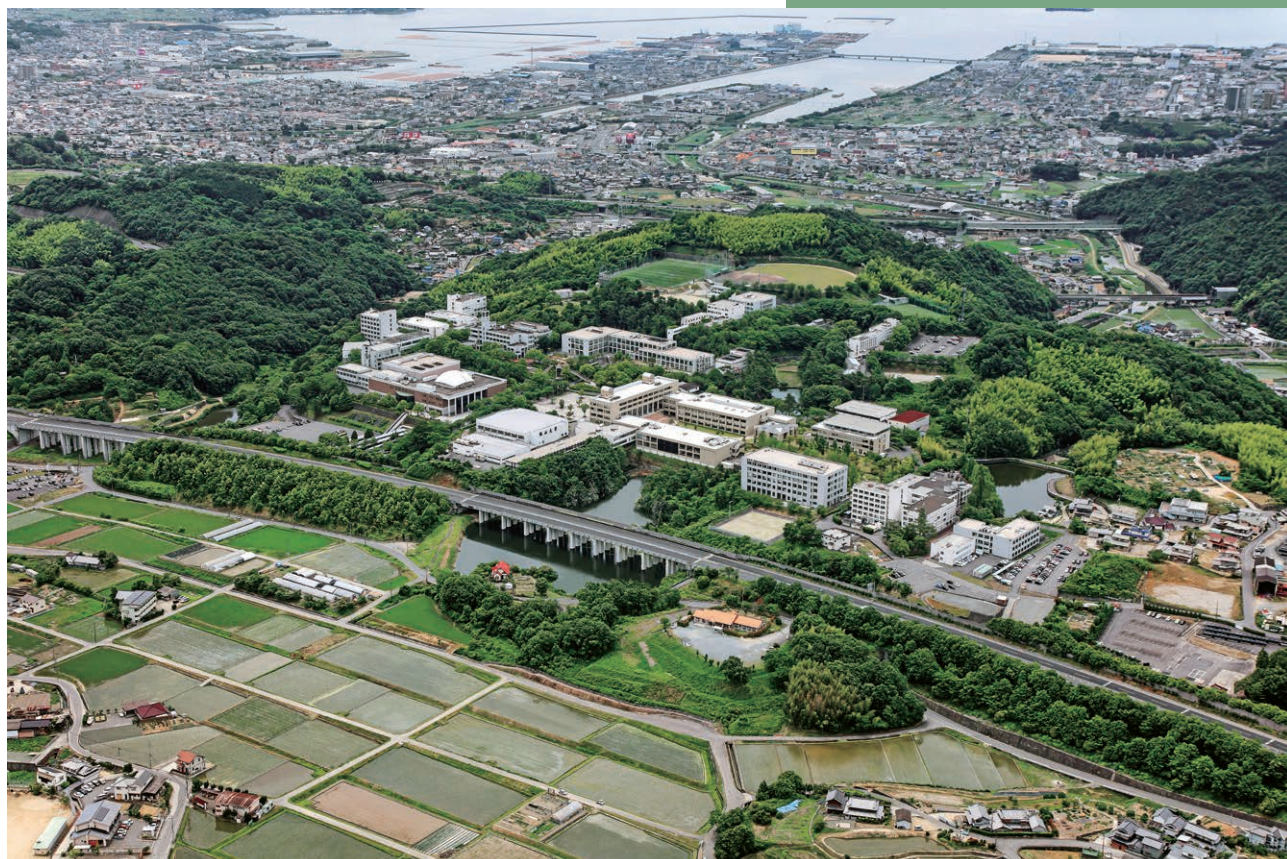
福山大学
FUKUYAMA UNIVERSITY

学 報

2018.3.20 Vol. **155**

三蔵五訓

真理を探究し、道理を実践する。
豊かな品性を養い、不屈の魂を育てる。
生命を尊重し、自然を畏敬する。
個性を伸展し、紐帯性を培う。
未来を志向し、可能性に挑む。



祝 卒業

平成29年度	学位記授与式	学長式辞	1
平成29年度	学位記授与式	理事長挨拶	2
平成29年度	学位記授与式	在学生送辞	3
平成29年度	学位記授与式	卒業生答辞	3
平成29年度	学生表彰 (卒業生)		3

卒業おめでとうございます！



福山大学イメージキャラクター
「ふくりん」

本学の学びを糧に、 未知の社会に道を切り開く！



平成29年度 学位記授与式 学長式辞

学長 松田 文子

皆さん、ご卒業おめでとうございます。在学中にはたくさん
のことを学び、経験し、多くの人間関係を築かれたことと
思います。それらを糧として、社会に出た皆さんが大きく花
開かれることを、ここから期待しています。そして、ご臨席
いただいておりますご家族の皆様、本日は誠におめでとうご
ざいます。ご家族の皆様の長きにわたる物心両面でのご支
援に、教職員一同、ここから感謝申し上げるとともに、こ
うして若さと知力にあふれる若者約650人を新たに世に送り
出すことができることを、ここから喜び、誇りに思います。

卒業生の皆さんは、4年間あるいは6年間勉学を続け、
本日卒業式を迎えることができたわけですが、それを誇りに
思うと同時に、今日までの皆さんの勉学や生活を支えてくだ
さった家族や仲間、そして社会の人々に感謝の気持ちを忘れ
ないようにしましょう。これからは皆さんが社会に出て、支
える側になります。1975年に開学した福山大学は、皆さん
を含めてこれまでに約35,000人の卒業生を送り出してき
ました。その中からは、すでに備後地域を中心に全国の様々
な地域で、リーダーや中核となって社会を担う人材が輩出し
ており、そこに皆さんも仲間入りすることになるのです。卒業
生は本学の宝であると同時に、社会は皆さんに大きな大きな
期待を寄せています。

さて、皆さんへの入学式告辞で、私はこのように述べてい
ます。「皆さんは一人ひとり、夢を持ってこの大学に入学され
たことと思います。夢はいつか覚めます。覚めないようにする
には、夢を具体的な目標にする必要があります。そして、目
標達成のための手段を考え、計画を立て、試行錯誤を重ね
ながら実行していく必要があります。大学での学びを丸ごと、
この目標実現のためのアクティブ・ラーニングにしましょう」と。
皆さん、いかがですか。きっと夢は、そのままの形では実現
されていないでしょう。でも、入学時には思いもよらなかった
多くの人との出会いがあり、そしてそれらに支えられながら、
同時にあなたも他の人を支えながら、多くのことを成し遂げて
きたことと思います。そうして得たものを糧として、皆さんは
今まさに、有為で貴重な社会の担い手として社会に出て行く
のです。

しかし、その社会は現在、なかなか難しい問題をたくさ
ん抱えています。国際的に見れば、民主主義の根底にある
べき寛容の精神が失われる方向にあるのではないかと危惧さ
れ、あちこちで国と国、地域と地域の欲望がぶつかり合い、

人々の分断が起っています。また、幾何級数的に進歩する
コンピュータ技術も人々に多様で多大な恩恵をもたらす一方
で、将来の人間の仕事のありようへの不安も生み出し、さら
にコンピュータウイルスやサイバーテロといった、新たなそし
て強大な脅威を人工的にもたらしてもいます。このグローバ
ル社会においては、これらと無関係に日本の国が成り立つこ
とも、私たち一人ひとりが社会人として生活することも不可能
です。そして、さらに我が国は、少子超高齢化、人口減少
の下でどのような持続可能な社会をどのように作っていくのか
という、これまで経験したことのない、外国にも解決のモデ
ルのない、新しいタイプの難問を突きつけられています。

皆さんがこれから支え作っていく社会は、このようになか
な先の見通しのつきにくいものであり、また困難の予想さ
れるものではありませんが、それだけに皆さんが大学時代に学
んで身につけた知識、技能、態度、それらを総合して発揮
する人間力への期待も大きいのです。皆さんと同世代の若者
の内、大学で学ぶ機会を得た者は半数しかいないのです。

さて、福山大学の建学の精神は「地域社会に広く開かれ
た大学として、学問のみに偏重するのではなく、真理を愛
し、道理を实践する知行合一の教育によって、人間性を尊
重し、調和的な人格陶冶を目指す全人教育」です。その理
念に沿って、皆さんは在学中に専門的な知識や技能はもちろ
ん、情報リテラシーや語学力のような現代的教養も身につけ
ました。また、課題発見力、課題解決力、感情統制力、コミュ
ニケーション力、プレゼンテーション力といった汎用性のあ
る力も身につけました。さらに、責任感、協調性、倫理観と
いうような態度も身につけたことと思います。特に、最後の
態度については、基礎的な力あるいは汎用性のある力を人間
力として社会に生かすときに、今後ますます重要になるでし
ょう。

大学教育の成果として今、皆さんが手にしているこのよう
な様々な能力と態度に支えられた自信と希望を心の糧として、
社会に出てもそれぞれの場所で核となる人材となり、向かって
くる困難に打ち勝って、その地域を支え、そこから世界に発
信し、ローカルにもグローバルにも活躍していただければと、
心から期待しています。

では、皆さんのこれからのご活躍を願って、もう一度「ご
卒業おめでとうございます」と述べ、式辞を終わりとします。

平成30年3月20日

地域をはじめ国家、社会、 世界の発展に貢献を



平成29年度 学位記授与式 理事長挨拶

学校法人 福山大学 理事長 清水 厚實

本日の記念すべき佳き日に平成29年度卒業生のための式典が盛大に挙行されることになり、心よりお祝い申し上げます。

卒業生の皆さん本当におめでとうございます。また、本日は多くの保証人の皆様にもこの目出たい卒業式典にご列席をいただき、ありがたく厚く御礼申し上げます。保証人の皆様が大切にお育ていただいたお子様が成人となり、こんなに立派な社会人として新しい時代を、AI、IoT等を駆使できる知識と資格、能力を持つ素晴らしい人材として大学の卒業を迎えられ、お喜びも一入のことと改めて心よりお祝い申し上げます。

学校法人福山大学の二つの大学は、憲法並びに教育基本法及び学校教育法等の基本精神となっている「全人教育」即ち、「人間の発達可能性を全体として調和的に実現していくことを目指す教育」に従い、入学したすべての学生を大切に育てることを大学の基本理念とし、学生に対する学修指導、生活指導、就職指導に心血を注ぎ、興味を持って自分の定めた学業に励むとともに、各学部、学科で定めた必要な資格を必ず取って卒業させるよう指導してまいりました。また、広島県東部唯一の私立総合大学として「地域、社会で働く中核的人材の育成」を重要なミッションとし、地域、社会に貢献する有為な人材の育成を教育の重要な目標に掲げ、努力してまいりました。

ご承知のように経団連や日経連、商工会議所等の経済団体は、企業等で働く人材としての責任感、協調性、判断力、創造性、リーダーとしての資質、コミュニケーション能力、バイタリティ、社会貢献への意欲などを強く求めています。

卒業生の皆さんがこれから勤める予定の職種である営業系、企画・事務系、技術系（IT・AI、通信、機械・電気、建築・土木、化学・食品）、店長（営業や店舗管理）、金融系職種、学術・マーケティング関連、専門系職種（医療・看護等）、クリエイティブ系等55職種別の「企業が求める人物像TOP3」では、次の三つを強く求めています。

第一は「積極性」、第二は「柔軟性」、第三は「外向性」となっています。

これからは、まさに企業等で働く中核的人材として、その活躍が大いに期待されるわけでありますので、当大学で培った学力と苦勞して取った各種資格を有効に活用し、立派な社会人として活躍されることを心から期待するものであります。

さて、当大学の現状であります。ご承知のように就職については、ここ数年間ほぼ100%近くが就職するといった全国の大学就職率の平均を遙かに上廻る実績を誇っています。これは偏に就職を希望している学生の努力が第一であります。それとともに大学の教職員並びに就職委員会等の大変な努力が実ったものと考えております。

大学としては入学した学生には、自分が目標とした学業に合わせ必要な各種資格を取って卒業するよう厳しく指導しておりますが、その成果がこのような形で実ったものと心より喜んでいところであります。

お蔭さまで、ここ数年、学生数は年々増加の傾向にありますが、このように高い実績を挙げておりますのは、偏に当大学の先生方の教育力、研究力、指導力などが極めて高いこと、また、事務職員も就職、入学について、学生に対し本当に親身になって相談に応じ指導していたことの成果だと考え、心より感謝しているところであります。

さて、世界の情勢を見ますと北朝鮮の核問題をはじめ、イギリスのEU離脱、アメリカのトランプ大統領の誕生など、まさに不確実な時代で、多くの難問を抱えています。

一方、国連では環境問題や貧困、格差拡大などの課題をそのままにしておけば経済成長は続かず、健全な社会を築くことができないという危機感をもっています。そこで国連は持続可能な社会に向けた取り組みとして、貧困、健康と福祉、教育、気候変動など17の項目についての目標（SDGS、持続可能な開発目標）をかかげ、国際社会の共通の目標として2030年までに達成するよう加盟国に求めています。

卒業生の皆さん、大学で培った知識や経験、資格等を活用し、地域をはじめ、国家、社会、世界のため有為な人材として活躍されますよう心より祈念し、卒業のお祝いの言葉といたします。

平成30年3月20日



平成29年度 学位記授与式 在学生送辞



在学生総代
生命工学部 生命栄養科学科

柴田 千緩

冬の厳しい寒さも和らぎ、徐々にここ三蔵の丘にも春の暖かな風が感じられるようになりました。卒業生の皆様、本日はご卒業おめでとうございます。在学生一同、心よりお慶び申し上げます。

皆様は福山大学に入学されてから今日までの間、勉学や学内外での様々な活動で日々努力されてこられました。今日ここに、学位記を手になされる喜びは、ひとしおのことと思います。また、先生方や友人と過ごした様々な日々を振り返り、今改めて胸を熱くしておられることと思います。

私たちが在学生は、新入生オリエンテーションから始まり、サークル活動、三蔵祭、学科の行事などの活動を通して、先輩方から数多くのことを学びました。私が特に印象に残っていることは、病院や福祉施設での学外実習に際し、先輩方に多くのご助言をいただいたことです。患者さんへの指導や調査などを行ううえで配慮しなければならないこと、そして感謝と謙虚な心で実習に臨むことが大切だと学びました。

このように、私たちの成長の影にはいつも先輩方の姿がありました。将来、社会に貢献できる人材となるべく、これまで一步一步確実な歩みを進めることができたのは、手本となる先輩方の後ろ姿があったからです。私たちが在学生は、先輩方のご指導に心から感謝し、後輩の良き手本になるよう常に心掛けていきます。

さて、これから皆様が活躍される社会は、まさに激動の時代を迎えることと思います。人工知能による技術革新は、私たちの生活を大きく変え、想像もできないような便利で豊かな社会の実現へ導くでしょう。一方で、わが国における少子高齢化による生産年齢人口の減少、人類の生命と平和を脅かす止むことのない争いや地球環境の変化といった様々な課題に対し、私たちは力を合わせ向き合っていかなければなりません。

このような厳しい社会や変化に富む環境において、福山大学で身につけた専門性に裏打ちされた幅広い知識と柔軟な思考、地域活動などで培われた豊かな人間性を発揮され、社会で活躍されることを心より祈念しております。

私たちが在学生は、先輩方が築かれ受け継いでこられた福山大学の伝統と学風を継承し、三蔵五訓の理念を礎とし、母校のさらなる躍進と発展のために一層の努力をしています。

最後になりましたが、皆様のご健康と進まれる前途に幸多からんことを心よりお祈りいたしまして送辞といたします。

平成30年3月20日

平成29年度 学位記授与式 卒業生答辞



卒業生総代
経済学部 国際経済学科

張 芷澄

今年の冬は、いつもより厳しい寒さでした。その冬もようやく終わり、大変春らしくなりました。本日はこのような素晴らしい式を挙行していただき、卒業生一同を代表して厚く御礼申し上げます。ここに、卒業の日を迎えられたことを大変嬉しく思います。

また、お忙しい中、理事長清水厚實先生、学長松田文子先生をはじめ、諸先生方並びにご来賓の皆様方、また保証人の皆様方に多数ご臨席をいただき、心より御礼申し上げます。先ほどは、清水厚實先生並びに松田文子先生より訓示と激励のお言葉を賜り、在学生の方からは温かい励ましの言葉をいただきました。卒業生一同を代表して、厚く御礼申し上げます。

私は中国からの留学生です。私は福山大学と周辺の自然がとても気に入っています。春は三蔵の丘が桜に染まり、秋は見事な紅葉が周辺の里山と調和します。毎年繰り返されるこの美しい光景は、私にとっ

て生涯忘れることのできない風景となりました。このような素晴らしい環境の中で、先生をはじめ様々な人との出会いがあり、専門的な学修を深めることができました。福山大学では、フィリピンへの海外研修の参加や資格検定など充実した大学生活を送ることができました。こうした福山大学での学生生活において、私たちが優しくも時には厳しく指導してくださったのは先生方でした。また、検定試験の合格に向けて切磋琢磨し、支えあったのは友人たちであり、そして何と言っても遠く離れた家族から優しい励ましがありました。今は感謝という言葉以外ありません。

私は、大学院への進学を決めています。大学院では、近年、中国の直接投資が大規模に実施されていますが、直接投資においても貿易と同様に雁行形態発展モデルの成立について研究するつもりです。

今日、この日をもって私たちはそれぞれの新たな目標を持って、足を踏み入れたことのない新しい世界に旅立ちます。しかし、私たちの前途は決して容易ではありません。困難に出会った時には、福山大学で学んだ知識や経験を生かし、諦めることなく立ち向かって試練を乗り越えていきたいと思っています。

最後になりましたが、お世話になりました諸先生方並びに職員の方々に改めて御礼申し上げます。そして、福山大学のさらなる発展を祈念し、答辞とさせていただきます。

平成30年3月20日

平成29年度 学生表彰(卒業生)

【学長賞】

部 門	学 部	学 科	学年	氏 名
スポーツ	経済学部	経済学科	4年	中山 翔
社会活動	経済学部	経済学科	4年	稲田慎之介
社会活動	人間文化学部	心理学科	4年	藤岡 隆景
社会活動	人間文化学部	心理学科	4年	河村 里菜
社会活動	人間文化学部	心理学科	4年	小坂ユキナ
学 業	経済学部	国際経済学科	4年	張 芷澄

部 門	学 部	学 科	学年	氏 名
学 業	人間文化学部	心理学科	4年	八神 昊聖
学 業	工学部	情報工学科	4年	神原 広明
学 業	工学部	情報工学科	4年	竹本 一哉
学 業	生命工学部	海洋生物科学科	4年	細越 嵯千
学 業	薬学部	薬学科	6年	宇田 有沙

※受賞者については、平成30年3月20日(火)の学位記授与式(卒業式)において表彰を行いました。

編集後記

とても寒かった冬も終わりを迎え、自然豊かなキャンパスでは、小さな春をあちらこちらで見かけるようになりました。卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。大学生活はいかがでしたか？友人や恩師との出会い、この4年間または6年間ならではの経験等、様々なことが思い返されるのではないのでしょうか。今後は、福山大学で学んだことや経験したことを糧とし、社会でのご活躍を心より願っております。

発行 福山大学
編集 福山大学広報委員会
〒729-0292 広島県福山市学園町1番地三蔵
TEL(084)936-2111 FAX(084)936-2213

<http://www.fukuyama-u.ac.jp>